

心地よさを デザインする

RDEフォーラム2022大阪



鉄道と織物

鉄道の魅力をひきだすテキスタイルデザインの過去・現在・未来

鉄道の本質は、利用する人が、安心・安全・快適に移動できることです。外観デザインに目が向きがちな鉄道車両ですが、人の移動空間である車内デザインは、それ以上に重要といえます。そのインテリアデザインの対象に、唯一ソフトな素材「織物」があります。乗客に直接触れるという点や、色柄をまとう点でも、快適さと印象において古くから大切なデザインの対象でした。中でも「モケット」はほぼ全ての車両で使われている織物です。テキスタイル（織物）デザイナーは日々、どんな想いを込めてデザインしているのでしょうか。未だ見ぬ「テキスタイル・デザイナー」の世界に触れ、「心地よさ」とは何か----- みなさんと一緒に考えてみたいと思います。



プログラム 開始 13:30～ 終了 16:30

- 第1部
- キーノートスピーチ 南井 健治氏
 - プレゼンテーション-1 株式会社龍村美術織物 龍村 旻氏
 - プレゼンテーション-2 住江織物株式会社 島津 邦康氏
 - 総括 山田 晃三氏
- 第2部 鉄道車両デザイン研究会 (RDA) プレゼンテーション
- 第3部 情報交流会

総合司会：久野 知美



「心地よさを デザインする」

快適の追求と、テキスタイルデザインの世界



南井 健治 (みないけんじ)

近畿車輛株式会社 上席執行役員

1979年京都市立芸術大学を卒業し近畿車輛入社。以降国内外の鉄道車両デザインに携わる。関わった車両は多岐にわたるが、特に輸出車両のデザインを多く手掛ける。営業企画部長を経て15年より同社役員。著書に「鉄道車両のデザイン (学研) 2012」がある他、雑誌への寄稿多数。日本インダストリアルデザイン協会会員。RDE発起人であり実行委員長を務める。



プレゼンター



紋織物のデザインと鉄道車両

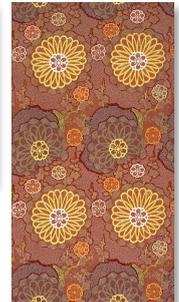
龍村 昶 (たつむらきよし)

株式会社龍村美術織物 代表取締役会長

1970年同志社大学工学部卒業

1982年株式会社龍村美術織物入社

1984年取締役、2004年代表取締役社長 2020年より現職



車両の内装を彩る

「モケット」という名の希少な織物

島津 邦康 (しまずくにやす)

住江織物株式会社 車両開発部部長・デザイングループグループリーダー
 京都精華大学美術学部卒。1991年住江織物入社。テキスタイルデザイナーとして1996年より鉄道・バスを中心とした国内公共交通向け内装材

(シート表皮、カーテン、カーペット等) のデザイン及び商品開発を担当し、現在に至る。



総括



山田 晃三 (やまだこうぞう)

月影デザインコンサルティング 代表 RDE実行委員

1979年GKインダストリアルデザイン研究所 (現GK Design Group) 入所。12年株式会社GKデザイン機構 (GK Design Group Inc.) 代表取締役社長。相談役を経て現在。日本デザイン振興会 (Gマーク) 審査員フェロー。日本サインデザイン協会副会長。空間デザイン機構理事。道具学会監事。

総合司会



久野 知美 (くのともみ)

女子鉄アナウンサー。テレ朝「タモリ倶楽部」、BS日テレ「友近・礼二の妄想トレイン」、NHKラジオ第1「鉄旅・音旅 出発進行!」など鉄道関連のテレビやイベントに多数出演。

国土交通省認定の『日本鉄道賞』選考委員。鉄道貨物協会『鉄道貨物輸送親善大使』。

最新刊「東京メトロとファン大研究読本」が発売中!